

学習指導案 略案様式（特別の教科 道徳を除く）

1年1組	指導者	梅木 香枝	教科等	国語
単元名等	かきとかぎ			
単元	目標	評価規準	※どちらかを選択し、 で囲ってください。	
	知識及び技能	知識・技能	◆濁音と半濁音のひらがなを読み、書くことができるようする。 【(1)ウ】	
	思考力、判断力、表現力等	思考・判断・表現	○語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりがわかるように書き表し方を工夫できるようする。 【B(1)ウ】	
	学びに向かう力、人間性等	主体的に学習に取り組む態度	○進んで濁音や半濁音を含む言葉を見つけ、これまでの学習をいかして文字で表そうとするようする。	
単元の学習展開（全2時間）				
導入	<input type="checkbox"/> 唱え歌を、いろいろな言い方で楽しく読み、濁音に気付く。			
展開	<input type="checkbox"/> 教科書にある単語を、一語一語唱えながら濁音と半濁音の有無を確認する。 ・清音と濁音と半濁音のひらがなをノートに書く。 <input type="checkbox"/> 身の回りの濁音と半濁音を含む単語を見つけてノートに書く。			
終末	<input type="checkbox"/> 学習をふり返る。			

ねらい	濁音のある言葉について、 濁音の有無による読み比べや濁音を付ける場所の共通点を考えることによって、 正しく読み書きできるようにする。	【◆知識及び技能 ノート記述】
本時 (1/ 全2時間)	「めあて」と『課題』 「“てんてん”が付く言葉を読んだり書いたりしよう。」 『どうして“てんてん”を付けるのかな。 『“てんてん”は、どこに書くとよいかな。』	『まとめ』と「振り返り」 『“てんてん”を付けると読みやすい。意味が分かる。 『“てんてん”は②の部屋に書く。』 「“てんてん”が付く言葉を上手に読めました。」 「“てんてん”的場所に気を付けて書けました。」 「“あいうえお”には“てんてん”を付けないのがふしぎ。」 「明日は“てんてん”が付く言葉を見つけたい。」 「“まる”が付く言葉も勉強したい。」
児童に対する手立て	【予想されるつまずき】 ・集中して学習に取り組むことが難しい。 ・見て書くことが困難。	【必要な支援・手立て】 ・教科書だけでなくタブレット端末を使用し、注目できるようにする。 ・必要に応じてなぞり書きができるように、プリントを用意する。